

すぎもり No15 地区協議会 だより

令和3年(2021年)7月

No15

地区協議会



6月7日「白いシャツまぶしい三中運動会」



「定例総会のご報告」

5月8日すぎもり地区協議会の令和3年度定例総会を開催。令和2年度活動報告・決算報告、令和3年度活動方針・予算案の4議案すべてが審議承認されました。

地域を知ろう『防災ウォーキング』



新型コロナウイルスと地域防災

調布市立第三中学校 校長 大瀬義一



緊急事態宣言が延長される中……、昨年の一斉休校以来何かとこの前書きをしてしまいます。今年の防災教育の日には地区協と連携して、生徒・保護者・地域でいかに避難場所を設置して運営するかというテーマで共に避難訓練を実施する予定でした。しかし、新型コロナウイルスの蔓延で、今年の防災教育の日には自衛隊による防災講話と道徳授業だけで引き渡し訓練も中止となってしまいました。

一昨年の染地地区の水害から、調布市も地域防災に向けて本腰を入れてきました。三中の目の前の電柱には4m浸水の表示があります。4mというと校舎の2Fの床上浸水です。多摩川の堤防が決壊した時の想定です。これに対して、垂直避難の計画を立てるよう指示がありました。3Fに全校生徒を避難する？一度浸水した場合水が引くまでに1日以上要するでしょう。当然防災倉庫は水の中。停電もするでしょう。水も電気もない状態で一昼夜700人近い人間を3Fに留めておくなど、ナンセンスの極みです。大雨なり台風なりで多摩川が増水すれば、事前に状況は分かります。もし

授業中なら、私は迷わず三中通りを上り、第二小学校に全校避難します。第二小学校の校長先生にはそう伝えてあります。しかし、一昨年の水害時、第二小学校は完全にキャパオーバーとなっていました。市としての対策はまだ未完了です。学校のある時間なら私が総指揮をとりますが、休日や夜なら？まさに、自助共助で乗り切るしかありません。水害には三中は使えませんが、それ以外なら避難所として使うことができます。地域とともに具体的に策を練っていく必要があるでしょう。

第三中学校では、無観客で感染予防対策を行った上、規模を縮小して運動会を実施しました。

全校生徒が一堂に会し実施できたことは、私としても喜びであり、生徒が一生懸命に走る姿こそが、学校のあるべき姿だと改めて感じました。Withコロナという言葉はなんだか好きにはなれませんが、感染予防に対して理解し協力していただけていることに感謝いたします。

今後とも、子供たちの安全と学びの機会の確保にご協力いただけるようお願い申し上げます。



ホームページアドレス <http://sugimori.net>

✉ chikukyo@sugimori.net



すぎもり地区協議会では、昨年12月に『防災ウォーキング』（水害編）をお試し開催。マップを片手に、電柱の《想定浸水深》表示、土地の高低差、水路・水門の位置・名称などをチェックしながら2時間かけて歩きました。

参加者からは「想定浸水深の数字にビックリ!」「平坦に見える所も意外に高低差があった」「水路や水門の正式な名前を知ることができた」「新しい住宅地の脇に昔の水路の跡が残っていたり、暗渠になっている水路も多いことがわかった」などの感想が寄せられました。



防災ウォーキングのすすめ



令和3年5月20日から 避難指示で必ず避難 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を察知したときに発令)
4	避難指示※2	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を踏まえ避難できるものではない等の理由から、警戒レベル4は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて警戒の行動を見合わせ地めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、 すでに安全な避難ができず 命が危険な状況です。 警戒レベル5緊急安全確保の 発令を待ってはいけません!	避難勧告は廃止されます。 これからは、 警戒レベル4避難指示で 危険な場所から全員避難 しましょう。	避難に時間のかかる 高齢者や障害のある人は、 警戒レベル3高齢者等避難で 危険な場所から避難 しましょう。
--	--	---

内閣府(防災担当)・消防庁

皆さんもご家族や近所の方と気軽に防災ウォーキングをしませんか? 夏休みの自由研究にもおすすめです。視点を変えて地域を観察することで、見慣れた風景の中に潜む危険に気づき、通学路や避難所経路のチェックができ、防災・減災に活かすことができます。

防災ウォーキングは、災害の種類(地震か水害など)によってチェックポイントが異なります。例えば、地震であれば「倒れそうなもの」「落下しそうなもの」「公衆電話やAEDの設置場所」などに着目して歩いてみましょう。

用意するもの

- ★自宅・避難所を含む地域の地図
(手書きの略図やハザードマップでよい)
- ★ボールペンやマーカーなど筆記用具
- ★季節に応じて飲み物・帽子・タオルなど

（ ペット同伴避難 アンケート結果のまとめ ）

すぎもり地区協議会副会長 大町 忠敏



柴犬の優ちゃん(♀)笑顔がかわいいです♡

すぎもり地区協議会の2020年度のペット同伴避難訓練はコロナ禍のため取りやめ、多摩川土手などで117人の方にアンケート調査(2021年3月5日～3月28日)を行いました。アンケートでは、災害時のペットを連れての避難について尋ねました。避難所の利用について、戸建ての方と集合住宅の方に分けて集計した結果は下表の通りです。

調布市マニュアルの同行避難であれば半数以上の方が避難所を利用しないと答えました。避難所を利用しないと答えた方の83%がペットと離れたくないためという理由でした。

「同行避難」は、避難先でペットはケージに入れられ飼い主と離ればなれになります。「同伴避難」は、ケージに入りますが、屋内で飼い主のそばで過ごせます。同伴避難であれば、災害時に避難所を利用するという方が増えると思います。

詳しいアンケート結果はすぎもり地区協議会のホームページをご覧ください。

＜ 避難所利用について ＞

同行避難の場合	利用する		利用しない		不明		総数
	数	%	数	%	数	%	
戸建て	17	23.3	38	52.1	18	24.7	73
集合住宅	6	17.1	22	62.9	7	20.0	35
総数	23	21.3	60	55.6	25	23.1	108

アンケート用紙



地域ネット担当 加藤洋子



「公衆電話はどこに？」

皆さんの住まいから一番近い公衆電話はどこにありますか？ 1984年(昭和59年)全国に約90万台あった公衆電話は、2019年(令和元年)には約15万台まで減少しました。携帯電話の普及で利用が減ったためですが大規模災害時の通信手段として頼もしい存在です。場所を確認しておきましょう。調布市では市内28の小・中学校の避難所に5台ずつ災害時用の「特設公衆電話」を配備しています。特設公衆電話は、停電時でも使用可、使用料は無料、発信のみ可、安否確認用として避難所開設時に設置されます。

「新しい防災用品の紹介」

すぎもり地区協議会では、避難所で必要なものや役立ちそうなものを予算の範囲内で少しずつ揃えてきました。6月20日、防災用品の点検を行いました。その中から2020年度に購入したテント型の間仕切りを紹介します。



★テント型の間仕切り…収納時は直径80cmの円盤状⇒ワンタッチで広げると幅200×奥行200×高さ180cm(広さ2畳大)に。大きなサイコロみたいなイメージです。軽量、移動楽々。

その他にカセットボンベ2本で発電するガスパワー発電機(ホンダエネポ)やスマホ充電用の電源タップ、ヘッドランプも備えていますが、いざという時に手早く使えるように訓練することも必要です。



生活の相談、仲間づくりの相談等は…

「調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター」へ

誰もがいきいきと安心して暮らしていくための生活の相談、趣味やボランティアを通した仲間づくりの相談の窓口として活動しています。

- 染地地域福祉センター内 ボランティア室
TEL 481-3790 火～土 9時～17時
ボランティアコーディネーター 渡邊久美子
- 調布市総合福祉センター内
TEL 481-7693 月～金 8時30分～17時30分
地域福祉コーディネーター 中村 竜
地域支え合い推進員 北島正也

福祉や介護に関する相談等は…

「調布市地域包括支援センター ときわぎ国領」へ

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として調布市から委託を受けている機関です。担当地区は、染地、国領町6・7丁目、布田5・6丁目、多摩川6・7丁目です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、介護保険の申請や適切なサービス等をご案内しております。困った時にはお気軽にご相談ください。

所在地：国領町7-32-2 デュスモン国領101
(クリエイト国領町店 東隣)

電話：050-5540-0860

開所：月～土9時～18時 夜間及び日曜は転送電話対応

6/13



「こどもフードパントリー調布」の お手伝いをしました

6月13日 多摩川住宅はむね かえる公園にてフードパントリーが開催されました。当日は事前に申し込んだ196名(72世帯)の親子が密を避けるため4つの時間帯に分かれて来場しました。マスク着用の上、受付前に検温・アルコール消毒を実施、ソーシャルディスタンスを保って並び、キッチンカーのカレーライスと袋いっぱい食品を持ち帰りました。



今回のフードパントリーは調布市の企業からの寄付、調布市子ども食堂ネットワークの運営、調布市社会福祉協議会・はむね管理組合・染地小地区協議会・すぎもり地区協議会の協力により催されました。

高齢者を狙う詐欺に気をつけましょう！

「必ず儲かります！」と言って、儲け話を持ち掛ける利殖商法や「不用品を買い取ります！」と言って、貴金属などを強引に買い取る訪問販売など、高齢者を狙った悪徳商法が調布市で多発しています。最近では台風などの災害に便乗した詐欺やコロナウイルスや給付金関連のトラブルも増えています。詐欺の手口は、警察や社会が考え出した対応策を上回り、どんどん巧妙化されています。「自分は騙されない」という思い込みはせず、「自分も気を付けよう」と思うことが大切です。また多額の金銭を扱う場合は、大丈夫と思って、必ずどなたかに相談するようにしてください。客観的に見ておかしいと気づいてくれます。

まずはご自身で気を付けること、さらには地域の見守りや声掛けにて、高齢者を詐欺被害から守りましょう。



詐欺被害を防ぐため出前講座を開催します！！
ご興味ある方はぜひご参加ください！！

高齢者をねらう悪徳業者から身を守るために

日時 令和3年8月2日(月) 10:00～11:30

場所 染地地域福祉センター大集会室

定員 40名

参加申込 地域包括支援センターときわぎ国領
電話050-5540-0860まで